

行方市スクールバス(麻生東小学校コース)運行業務仕様書

1 目的

本業務は、学校統廃合に伴い遠距離通学となる児童に対する通学手段の確保を目的とした行方市スクールバス(麻生東小学校コース)の運行業務を行うものとする。

2 業務名

行方市スクールバス(麻生東小学校コース)運行業務

3 履行期間

令和10年4月1日から令和15年3月31日まで 5年間

4 業務内容

(1) 業務形態

行方市(以下「市」という。)と行方市スクールバス(麻生東小学校コース)運行業務委託事業者選定プロポーザルにおける最優秀提案者として選定された事業者(以下「運行事業者」という。)で、この仕様書に基づく運行に関する契約書を締結し、運行事業者は、道路運送法(昭和26年法律第183号)第4条による一般乗合旅客自動車運送事業(路線不定期運行)の許可を受けて運行を行うものとする。

(2) 運行開始手続

運行事業者は、道路運送法第4条に基づく許可申請をはじめ、運行を開始するために必要な手続きについて、遅滞なく確実に行うこと。

手続きに、不測の日数を要する場合は、別途、市及び関係機関等と協議するものとする。

(3) 安全運転及び法令遵守の遂行等

運行事業者は、安全運転及び法令遵守を遂行し、事故発生時は責任ある補償対応をするものとする。また、運行苦情等に適切な対応処理をするものとする。なお、運行事業者は緊急連絡体制図を市に提出するものとする。

(4) 連絡調整

運行事業者は、本業務を円滑に実施するため、必要な連絡調整を随時実施するものとする。

5 運行形態

(1) 利用者

行方市立麻生東小学校の通学手段の確保を最優先とする。児童の安全かつ適正な乗車に支障があると認められる時は、一般利用者の利用はできないものとする。

(2) 車両の使用権限

運行車両は、運行事業者が使用権限を有するバスを使用するものとする。

(3) 緊急時の対応

緊急時には、速やかに適切な対応を行うものとする。

(4) 使用する車両の条件

使用する車両は、以下の条件を満たすものとする。

ア 初年度登録が平成 25 年 3 月 31 日以降であること。

イ 運転手を除き 21 人以上の児童が補助席を使用せず、かつ、シートベルトを着用し着座することができること。

(5) 運行ルート

運行ルートについては、以下のとおりとする。

ア 現行の麻生東小学校スクールバス 6 ルート及び停留所別将来予測を参考に、運行事業者が提案する安全で効率的な運行ルートにより、麻生東小学校児童の登下校に必要な運行を行うこととし、出発地点から到着地点の間に設定された停留箇所に停車し、安全に児童を乗降させるものとする。

別紙「麻生東用小学校 スクールバス停留箇所マップ」及び「系統別・停留所別利用者予測」

イ 年度の切り替え等による利用児童数の変更や、道路交通事情の変化等があった場合、麻生東小学校通学区域の範囲内において随時運行ルート及び停留箇所を変更するものとする。なお、当該変更に伴い、運行ルートの延長及び短縮並びに停留箇所の増減が発生した場合の委託契約額の変更は行わないものとする。

(6) 運行時刻

運行時刻については、次のとおりとする。

ア 小学校の登校時刻及び下校時刻を考慮したものとし、概ね午前7時～8時、午後2時～3時、午後3時～4時の1日3便とする。

イ 下校時刻の運行については、午後2時～3時に運行するスクールバスが送迎を完了し、当該バスが再度小学校に帰着する時間を考慮した午後3時～4時の便の運行時刻の設定とする。

ウ 学校行事に応じた時間及び回数の変更に随時対応するものとし、運行時刻表については、運行事業者と小学校で協議の上、作成するものとする。

(7) 運行日

月曜日から金曜日(国民の祝日、土曜日・日曜日、県民の日、臨時休業日及び長期休業日を除くが、振替授業日、登校日には運行する。)とし、年間210日以内とする。

(8) 利用料(運賃)

利用料(運賃)については、行方市スクールバス運行に関する条例(平成23年行方市条例第24号)の定めるところによる。

(9) 利用料の徴収

ア 登下校利用者

(ア) 利用料の納入義務者は、保護者とする。

(イ) 利用料は、市が徴収するものとする。

(ウ)利用者から徴収した利用料は、市の収入とする。

イ 一般利用者

(ア) 利用料は、運行事業者が徴収するものとする。

(イ) 利用者から徴収した利用料は、運行事業者から市に納付するものとする。

(10) 乗車券の発行

一般利用者に係る乗車券の発行は、運行事業者において行う。

(11) 運行に関連する必要な措置

スクールバスの運転者は、必要に応じ児童の車両への乗降の際の援助及び円滑な運行に関し必要な措置を講じるものとする。また、安全には特に留意し、細心の注意を払うものとする。

6 保険契約(任意保険)

運行事業者は自己の責任において、対人(無制限)、対物(無制限)、無保険車傷害、搭乗者傷害、その他必要十分な任意保険に加入するものとする。なお、運行事業者は当該保険証券の写しを市に提出するものとする。

7 公募時の提案事項に基づく業務遂行等

- (1) 運行事業者は、公募時の提案事項に基づき運行業務を行うものとする。
- (2) 市は、必要に応じて実施状況の報告を求めることができる。

8 運行経費

- (1) 運行経費には、人件費、燃料油脂費、点検費、賦課税、車両導入費、車両修繕費、自動車損害賠償保険料、任意保険料、その他業務を受託するのに必要な経費及び消費税を含むものとする。
- (2) 運行経費の支払い方法は、契約金額を55分の1に分割し、8月分を除く毎月分としてその翌月に支払う。なお、端数が生じた場合は各年度の初回分に加算して支払うものとする。

9 その他

- (1) 履行期間中に運行回数に変更が生じたことにより必要台数の減少が生じた場合は、市と運行事業者で協議の上、業務内容及び運行経費の支払い方法について変更するものとする。
- (2) 制度改正や登下校の必要による運行形態の変更等により仕様に変更の必要が生じた場合には、市と運行事業者が協議の上、仕様及び契約内容を変更するものとする。
- (3) 運行事業者は、この業務により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は継承させてはならない。ただし、あらかじめ委託者の承認を得た場合はこの限りでない。
- (4) 運行事業者は、業務上知り得た情報を他に漏らしてはならない。また、そのために必要な措置を講じること。
- (5) 運行事業者は、個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適切に取り扱わなければならない。
- (6) 業務の実施については、事業実施年度予算の議決が前提となる。

10 問合せ先

行方市教育委員会学校教育課

住所 行方市山田2564-10

電話 0291-35-2111(内線203)

FAX 0291-35-1785

電子メール name-gakkyo@city.namegata.lg.jp